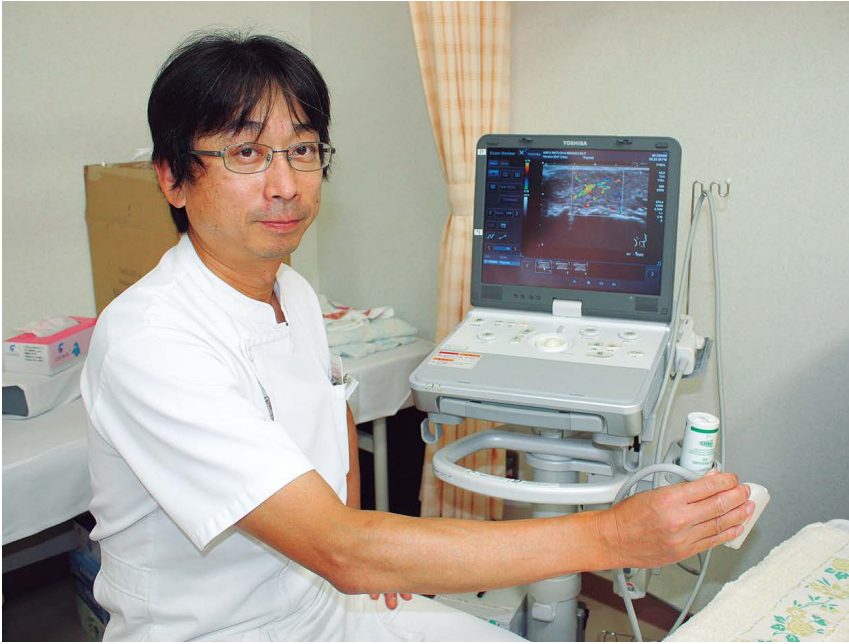


専門性と安心感を地域医療に反映 高度な技術で迅速かつ正確な診断



超音波診断装置(エコーグラム)など高度な医療機器が揃う



迅速で正確な診断に生かす高速マルチスライスCT



院長 安達 俊秀

平成3年旭川医科大学大学院卒業、平成3年旭川医科大学附属病院耳鼻咽喉科医員、平成4年名寄市立総合病院耳鼻咽喉科医長、平成7年旭川医科大学附属病院耳鼻咽喉科助手、平成8年苫小牧王子総合病院耳鼻咽喉科主任科長、平成13年7月にっしん耳鼻咽喉科クリニック開院。日本耳鼻咽喉科学会専門医。

眼科・耳鼻咽喉科

専門性と安心感をコンセプトに掲げ、高度な医療技術を提供する。診療科目は耳鼻咽喉科をはじめ、気管食道科とアレルギー科があり、特に甲状腺疾患やめまい、耳鳴りの診療で高い専門性を発揮。甲状腺疾患では、良性・悪性の腫瘍のほか、甲状腺機能の異常を伴うパセドウ病や橋本病、近年増加傾向にある睡眠時無呼吸症候群の診断や治療にもあたっている。

同クリニックは高速マルチスライスCTを導入。撮影時間を短縮できるうえ連続撮影ができ、胸部であれば一回の息止めで瞬時に撮影できる。従来のCTに比べて画質が大幅に向上しており、頭頸部腫瘍や副鼻腔炎、中耳炎のほか、3D画像で立体的に患部を確認できるため、鼻骨骨折や上顎骨折といった顔面外傷なども、より精密で正確な診断ができる。甲状腺ホルモン検査は即日結果を伝えることができ、更新したカラードップラー機能付き超音波診断装置とともに甲状腺疾患の診断治療に有用だ。

光学的画像強調技術のNBI（狭帯域光観察）機能を持つ電子スコープシステムは、咽頭、喉頭がんの発見に有用で早期発見・治療

に効果的。アレルギー性鼻炎の治療では、花粉やハウスダストなどによるアレルギー反応を起こしにくくするため、粘膜を変性縮小させるアルゴンプラズマ治療を導入。従来のレーザー治療よりも手術時間が短縮でき治療効果を持続させられる。

睡眠時無呼吸症候群の疑いがある患者には、ハンデタイプの検査機器で簡易検査を行い、無呼吸の回数や血中酸素飽和度などを測定。耳鼻科的処置が必要となれば対応し、重症の患者はCPAP（シーパップ）療法による治療へ移行。中等症の場合は、総合病院などで入院検査を薦めるほか、院外の口腔外科を通じて症状を緩和させるスリープスプリントなどを製作する。

同クリニックのホームページでは、特別外来日や診療時間、休日、ワクチン接種の開始など患者に必要な情報を掲載。携帯電話でも簡単に閲覧できるようにQRコードもあって便利だ。安達俊秀院長は「症状に気づいた際には迷わずに来院していただき気軽に相談していただきたい」と話している。

耳鼻咽喉科・気管食道科・アレルギー科

医療法人社団

にっしん耳鼻咽喉科クリニック

苫小牧市日新町2丁目6番43号にっしんメディカルセンター ☎(0144)71-1000
ホームページ <http://t-adachi1000.byoinnavi.jp>

診療時間／
月・火・水・金 8:30～12:00
14:00～17:45(受付17:30まで)
木・土 8:30～12:00
休日／日・祝日

